

学 部	文学部
学 科	
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>日本または外国の文化や、情報メディアに関する知識・教養を身につけ、それを生かしなが ら社会の幅広い分野で活躍できる。日本語力を磨き、外国語を習得し、国内外で通用する高い コミュニケーション能力をもつ。品位を保ち、自己表現力や適応力にすぐれ、社会貢献の意識 も高くもつ。</p> <p>1. 知識・理解</p> <p>高い基礎的教養をもち、そのうえに確かな専門知識を身につける。日本または外国の文 化・芸術・社会に高い関心と知識をもち、文化の伝統や多様性を理解するとともに、現代 社会の多様なメディア表現についても知り、理解できる。</p> <p>2. 汎用性技能</p> <p>基礎および専門の学びを通じて、社会にも通用する実践的な知識・技能、情報リテラシ ーを身につける。日本語力を磨き、外国語を習得し、グローバル社会に対応していける。 コミュニケーション能力や自己表現能力を身につける。</p> <p>3. 態度・志向性</p> <p>日本や外国の文化・言語に高い関心を寄せ、また習得した知識・技能を卒業後の社会生 活に生かすことができる。ホスピタリティーマインドについても理解し、ボランティアや 社会貢献への意識を高くもつ。制作および実践を通じて多様な表現やメディアを理解し、 また自ら発想する力をもつ。</p> <p>4. 総合的な学習経験と創造的思考力</p> <p>文化・言語についての机上での学びを生かしながら、留学も含め、学内外で体験的に学 ぶことによって、総合的で社会生活にもつながる生きた知識を獲得する。自主的、主体的 に学びとり、状況に応じて発案することができる。</p>	

学 部	文学部
学 科	日本語日本文化学科
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>日本語・日本文学・日本文化について豊かな教養を身につけ、社会に貢献できる人材の育成を目標とする。習得した知識・教養・技能を生かし、主体性・創造力を身につけ、新たな課題を発見し解決する力を養成する。多様な価値観を認め、コミュニケーションを深め、連携する力も備えなければならない。</p>	
<p>1. 知識・理解</p> <p>社会人としてふさわしい日本語運用能力を修得し、情報理解力・情報発信力・コミュニケーション能力を身につける。日本語・日本文学を客観的・科学的に捉えることができる。日本の歴史的文化的な背景を理解し、文学・芸能・美術・宗教・歴史などの日本文化に関する幅広い教養を備える。</p>	
<p>2. 汎用性技能</p> <p>論理的な文章を的確にまとめることができる。会話ではビジネスマナーに則った正しい表現を心がけ、自分の意見を表出しつつ相手の立場を尊重する協調的態度を養う。与えられた課題だけでなく自ら問題・課題を発見し、適切な解決策を探ることができる。</p>	
<p>3. 態度・志向性</p> <p>授業で教わることだけに満足せず、さまざまな分野での教養を体系的に身につけようとし、適切に情報を収集し活用できるようにする。自己と他者への理解を深め、豊かな人間性を養い、他者と協調する姿勢を身につける。大学での学習を基に、社会的義務を果たし社会に貢献する意欲を持つ。</p>	
<p>4. 総合的な学習経験と創造的思考力</p> <p>物事に対し、多角的な視点から本質を捉える眼力を備え、自ら目標を設定したり問題を発見したりし、課題を解決していく能力を身につける。常に情報収集を心がけて教養を豊かにするとともに、問題探究に積極的に取り組む。</p>	

学 部	文学部
学 科	英語文化学科
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>グローバル化が進む現在の社会情勢にあつて、外国語運用能力と国際的な教養を身につけた国際人の育成が大学に課せられている。英語文化学科では、英語教育、文化教育、キャリア教育の三つの柱を建て、世界語としての英語のコミュニケーション能力を高め、グローバルな英語文化を学ぶことを目標とする。そして、国際社会に貢献する精神に富む教養人を養成する。</p>	
<p>1. 知識・理解</p> <p>特定の国に限定されない世界の英語文化について地域的多様性と歴史的背景を理解し、その知識をグローバルな視点から活用できる。</p>	
<p>2. 汎用的技能</p> <p>物事を客観的・多角的に捉えることができる批判的思考力を養い、多様な文化的背景を持つ人々と柔軟に関わり合うことができる。英語リテラシーの向上に努め、将来のキャリアへ結びつけることができる。</p>	
<p>3. 態度・志向性</p> <p>常に世界に関心を持ち、世界の多様性や時代の変化に即応できる。他の文化を尊重すると同時に自らの文化を相対化し、自律的に行動することができる。</p>	
<p>4. 総合的な学習体験と創造的思考力</p> <p>競争的な学習ではなく協同的な学習の経験を通して、より豊かなコミュニケーションを実現する社会的スキルを身につける。他者と積極的に関わりながら、多様な価値観の中で創造的に思考する力を獲得できる。</p>	

学 部	文学部
学 科	多文化コミュニケーション学科
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>グローバル世界の中で、多様な文化的、社会的背景を受けて生きている人々が存在することを学び、自らが身につけた能力（語学力、国際教養、行動力）を活かし、国際社会、地域社会で活躍できる女性となる。</p>	
<p>1. 知識・理解</p> <p>1) 語学力 英語をはじめ、アジアやヨーロッパの言語を学習し、多様な文化的背景を持った人々と交流するための基礎的な素養を身につける。</p> <p>2) 国際教養 アジア・ヨーロッパ・北米・中南米・オセアニア・アフリカで暮らす人々や日本国内で外国にルーツを持つ人々の文化・民族・社会問題に関する理解を深め、現代世界の多様な課題を発見、分析、解決する能力を身につける。</p> <p>3) 行動力 日本社会および国際社会の中での「社会貢献」や「国際貢献」への関心を深め、実践できる知識を得る。</p> <p>2. 汎用性技能</p> <p>1) 語学力 グローバル社会の中で働き、コミュニケーションを取ることができる。</p> <p>2) 国際教養 グローバル社会の中で生じる様々な課題を理解し、その上で積極的に多様な国の人々と語りあいながら、社会を構築できる素養を身につける。</p> <p>3) 行動力 グローバル社会の中で期待される行動力、マネジメント能力を身につける。</p> <p>3. 態度・志向性</p> <p>1) 語学力 地域社会および国際的な現場で実践的に活かしていけることばを学習する。</p> <p>2) 国際教養 世界に目を向け、留学やスタディーツアーに積極的に参加し、多様な文化的、社会的背景を担う人々に出会い、意見を交わし合うことを通して、「多文化共生」社会を作り出す人材となる。</p> <p>3) 行動力</p>	

ボランティア活動やインターンシップなどを通して社会参加を行い、社会貢献活動を積極的に行える行動力・リーダーシップ力を身につける。

4. 総合的な学習経験と創造的思考力

少人数クラスでの指導のもと、学生が中心になって行う研究や発表を通して、各々の関心にもとづく知識や理解を深める。

また、4年間の学習によって世界の多文化社会に関する「知的好奇心」「行動力」を養い、地域および国際的な場面で活躍できるように、問題解決力、コミュニケーション能力、表現能力、マネジメント能力、語学力を養う。

学 部	文学部
学 科	メディア表現学科
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>メディア表現学科の教育は、作品を発信と受信の双方向的関係のもとに捉え直し、その作用と影響力について考察できる能力を身に着けることを目的とする。ここでは、グラフィックデザイン、写真、アニメーション、マンガ、映画、広告などの視覚文化領域に関する基礎的な知識と制作方法を学ぶことができる。また、情報社会を生きるために必要なメディア・リテラシーを獲得し、様々なメディアを利用したコミュニケーション能力の向上を目指す。</p> <p>1. 知識・理解</p> <p>メディアは送り手と受け手の間にある表現活動の中継地点に存在する。表現行為は単一方向的なものでなく、双方向的なものと理解しなければならない。そのためには広範な知識の獲得と社会への理解はもちろんのこと、メディアを媒介にして交換される記号の作用と人間の情動反応に関する理解が不可欠となる。</p> <p>2. 汎用性技能</p> <p>コンピュータを活用したメディア表現、言語を利用した文芸表現、写真・映画などのヴィジュアルカルチャー、自己表現としてのファッションなど、立案から制作に至るまで一貫して行い、伝達内容に応じた表現方法を学ぶことができる。</p> <p>3. 態度・志向性</p> <p>表現手段の多様化、メディアの多様化に対応するためには、常に新たな情報ツールに積極的に適応する態度が求められる。しかし情報ツールは、身体の拡張をもたらすものであるがゆえに、その影響面への批判的な関心を欠いてはならない。</p> <p>4. 総合的な学習経験と創造的思考力</p> <p>メディアを活用した表現の目的は、伝達する内容を形式化することだけでなく、情報の到達に至るまでの過程をデザインすること、すなわち情報受信における影響、効果に配慮した表現方法を模索することにある。本学科における学習経験は、実社会の諸活動の場面においても、良好なコミュニケーション関係を構築する有効な手段となる。</p>	